

～ 前期職業体験週間を終えて ～

みなさん、働く人になるために取り組めましたか。目標を達成できた人、そうでなかった人それぞれでしょう。ただ全員、課題が見つけたと思います。その課題はいつもの学校生活で見られることだったり、これまで気づいていなかったことだったりしたでしょう。それらの課題を日々の学校生活や家庭での生活で克服するために、具体的に何をするのかを決めて取り組んでいきましょう。「日常実践」です！！

仕事とは一般的に「生活を支えるための手段であり、個人の成長や社会への貢献を目的とする活動」と言われています。社会への貢献とは、言い換えると自分の利益だけでなく社会全体の利益を考えて行動する、つまり「人のためになることをする」ということです。その先に「ありがとう」などの感謝が自分に返ってくることもあります。

「働く人になる」ことを目標に一人ひとり自分の課題を見つめて「自分のため」、「人のため」に取り組んでいきましょう。

1年生 前期職業体験週間 校内実習

「お客様のために」を合言葉に5日間取り組みました。実際に商品となる資材の組み立てや検品、袋詰めを行う中で、働くことの大変さ、やりがいを実感したのではないかと思います。作業内容だけではなく、学校を「会社」と想定し、「上司」に対するあいさつや返事の仕方や、友だちではなく「同僚」としてのコミュニケーションの方法を学ぶ機会となりました。振り返りで「最初は難しかったけど、少しずつできるようになってよかった」と感じた生徒が多く、実りある実習となりました。引き続き日々の学校生活で様々なことにチャレンジしていきましょう。

朝礼(ラジオ体操)



「ケミカルキャップ」作業



「安眠袋」作業



2年生 前期職業体験週間 現場実習

1年生の後期実習に続き2回目の現場での実習となりましたが、今回は初めて2週間という長丁場に挑みました。どの生徒も緊張感を持ちながらも、それぞれの場所で自分の目標に向かってがんばっていました。最初はとまどうこともありましたが、少しずつ慣れてきて、それぞれが自分の力を発揮して、無事に実習を終えることができました。実習でできたことには自信を持ち、できなかったことに対しては自分の課題として意識して、後期の実習に向けてこれからの学校生活一日一日を大切に過ごしていきましょう。

3年生 前期職業体験週間 現場実習

職業体験週間としては最後の実習となりました。自分の「強み」と「課題」をしっかりとつかみ、次へとつなげられるように取り組みました。今までの実習や学校で学習してきたことを活かして実習することができた人、頑張ったけれども納得できる実習にならなかった人…などさまざまですが、それぞれの実習先でみんな精一杯頑張ったと思います。

実習先も真剣です。将来、自分の会社で雇用しても大丈夫なのかどうか、仕事をしていく上で何が課題なのかなどを見極めてもらい、実習後の反省会で貴重な意見をいただきました。就職がゴールではありません。これから先の長い人生、じっくりと働き続けられる場所をしっかりと見つけてほしいと思います。

2・3年生 前期職業体験週間 校内実習

実習日程の関係で校内実習に取り組んだ2, 3年生に進路指導部から仕事の依頼を行いました。1年生の校内実習に向けての手順書作りです。試行錯誤しながら作り上げ納品してくれました。

その手順書は1年生の実習で実際に使用し、「とても分かりやすかったです」といった言葉が仕事に携わった生徒に返ってきました。手順書作りに励んでくれたみなさん、ありがとうございます！



1年生軽作業

(2・3年生が作成した手順書を使用した箱折り)



生徒が作った手順書

～ 企業・訓練校見学 (1年生) ～

5月28日(火)に予定していた企業・訓練校見学会が警報の発令により延期となりました。日を改めて、9月18日(水)に実施する予定です。

～ 第一次職業相談会 (3年生) ～

6月24日(月)～6月26日(水)に地域別のハローワークとの第一次職業相談会が学校で実施されました。ハローワークと障害者就労・生活支援センターとの面談を行い、就職希望、意欲、態度などについて話をしました。8月下旬には第二次職業相談会があります。本人と保護者様には各地域のハローワークへ直接足を運んでいただき窓口での相談の経験をしていただきます。今回の相談会で話があった課題について、その後の取り組みを報告し、今後の進路について確認することになっています。